

議会だより わとまり



CONTENTS

年頭のあいさつ	2P
こんなことが決まりました	3P
人事案件・委員会活動報告	4P
10名の議員が町政を問う	5P
編集後記	14P



左の二次元コードをスマートフォン
などで読み取ると、町議会のホーム
ページにリンクします。

令和7年 年頭のあいさつ



議長

永野 利則

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

年頭にあたり、和泊町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃から、町議会への深い御理解と、議会活動に対する温かい御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昭和28年に日本へ復帰して以来、数々の法改正に基づき各般にわたる事業が実施され、交通・産業基盤、生活環境等社会資本の整備や産業の振興等において、一定の成果を上げてきており、自立的発展の動きに向けた本格的な取り組みが見られてきております。しかしながら依然として、本土との所得水準をはじめとする経済面における諸格差や人口の減少、人口流出など解決すべき課題が山積して

おり、令和7年度奄美群島振興開発の推進に関する要望活動については奄美群島成長戦略ビジョン2033の実現に向けて産業の振興と安全安心な定住環境整備を推進するために奄美群島市町村長会、奄美群島市町村議会議長会から関係省庁に要望活動を行っております。

また、持続可能な町づくり計画の脱炭素先行地域事業については他自治体の動向を注視しつつ優先順位を協議、検討していくとともに本町に最も適した、脱炭素先行地域事業を今後も執行部に提言してまいります。

さらに、本町の最重要課題である第六次和泊町総合振興計画に掲げられている「ようていあしぱプロジェクト」は、施設建設を更に推進する会において引き続き早期建設着工に向け協議がなされています。各種イベントやスポーツ大会等をはじめ、子育て世代が活用できるスペースを完備するとともに地球温暖化により世界各地で発生している様々な自然災害時に対応できる避難所など、町民の皆様が気軽に集い交流できる施設建設の推進に向け、提言を行って参ります。

農業立町基幹産業である本町は農林水産業において、世界各地で紛争がおき物価高騰から厳しい経営状況にあります。スマート農業やみどりの食料システム戦略を推進し、食料・農林水産業の生活向上に向けての支援に取り組んでまいります。

私たち和泊町議会は、8月改選にて12名が新たにスタートいたしました。常に国政の動向を敏感に捉え町益に鑑み、議員それぞれが問題意識を持ち、本町の行方を議論しながら町民の皆様と約束した公約を遂行し、町政発展に寄与してまいります。そして「人と未来を笑顔でつなぐ、心豊かな和の町、和泊町」を町民とともに創り、町民に寄り添う議会運営に鋭意努力して参ります。

どうぞ、本年も例年に変わらぬ議会への御支援と、町民の皆様の御指導・御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

結びにあたり、明るい未来に希望をいだき新年を迎えられた町民の皆様の、御健康と御多幸を心から御祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

■令和6年 第4回 定例会(12月10日～13日)

議案等 番号	件 名	議員名(議席番号順)												議事 結果
		市来 武次	川間 哲志	中村 むつ子	山口 明日香	島田 浩樹	松村 絹江	池田 正一	喜井 和夫	中田 隆洋	桂 弘一	東 弘明	永野 利則	
報5	専決処分の報告について(工事請負変更契約の締結について)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
請3	和泊町民の命と安心を確保し、無駄のない血液供給体制構築を求めます	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
陳15	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働は正を求める意見書採択の陳情について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
議58	和泊町えらぶゆり振興基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議59	和泊町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議60	和泊町運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議61	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議62	和泊町教育委員会委員の任命について	無記名投票 賛成11 反対0												— 同意
議63	事務の委託に関する知名町との協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議64	令和6年度和泊町一般会計補正予算(第6号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議65	令和6年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議66	令和6年度和泊町介護保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議67	令和6年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議68	令和6年度和泊町下水道事業会計補正予算(第3号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議69	令和6年度和泊町水道事業会計補正予算(第2号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議70	和泊町教育委員会教育長の任命について	無記名投票 賛成6 反対5												— 同意
議71	物品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
発8	和泊町民の命と安心を確保し、無駄のない血液供給体制構築を求めます	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
発9	持続可能な学校の実現をめざす意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

※永野議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

賛成反対がわかれた案件

【議案第70号】和泊町教育委員会教育長の任命について（賛成6 反対5）

〈反対討論〉
川間哲志議員

教育長候補は在職中、生徒と先生の問題で対応を誤り、教育委員会からの処分を受けたので、適任ではない。また追加議案として、本日提出された執行部の行為は議会軽視であり、町民の信頼も損ねる。

〈賛成討論〉
池田正一議員

皆さんの懸念する材料もたくさんあるのかもしれないが、それが良い経験になって、さらに教育者としてのスキルが上がったものではないのかと私は考えている。そういった経験をした中で、これからの和泊町の教育活動に活かしていけると思っており期待もしている。

PICK UP

人事案件

前回・今回の定例会で同意された人事案件をご紹介します☆

和泊町教育委員会教育長の任命

- 無記名投票による採決
投票総数11票：賛成6票
反対5票



- 欠員に伴う同意
村山 英哲 氏（65歳・西原）

和泊町教育委員会委員の任命

- 無記名投票による採決
投票総数11票：賛成11票
反対 0票
- 任期満了に伴う同意
宗 武彦 氏（75歳・内城）再任

人権擁護委員の任命

- 無記名投票による採決
投票総数11票：賛成11票
反対 0票
- 任期満了に伴う同意
榮 修司 氏（62歳・皆川）



総務文教委員会 二 学校・所管施設 訪問

城ヶ丘中学校



▲体育館のLED照明（更新）



▲体育館舞台のLED照明（更新）

大城小学校



▲遊具（更新）

内城小学校



▲教室の照明（更新）

11月12日～14日の3日間、町内の小中学校・所管施設を訪問し、管理・運営状況や調査・意見交換等を行った。

学校施設において、体育館の壁面劣化・遊具や自転車小屋の老朽化・体育館の照度不足等、昨年要望を行い、改善がなされていた。今回の調査で配電盤の故障で照度不足になっている箇所が見受けられた。

意見交換の中で、照度不足により児童生徒の視力や身体に影響を及ぼす場合や児童生徒の教育環境に影響がある場合は、早急に対応して頂くよう要望した。

ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和6年第4回
議会定例会

なかだ たかひろ
・中田 隆洋 議員
持続可能な経済・福祉・
インフラをP5

いちき むつく
・市来 武次 議員
これからの防災対策
.....P6

しまだ ひろき
・島田 浩樹 議員
黒字財政、町民への
投資へP7

なかむら こ
・中村 むつ子 議員
町民が知って選択できる
情報提供をP8

いけだ しょういち
・池田 正一 議員
災害に負けるな島人よ
.....P9

まつむら きぬえ
・松村 絹江 議員
高齢者にやさしい町政
.....P10

かわま てつし
・川間 哲志 議員
未来の和泊町を描く
ためにP11

やまぐち あすか
・山口 明日香 議員
産み育てやすい
まちづくりをP12

かつら ひろかず
・桂 弘一 議員
町民の財産である文化財の
保護を考えるP13

ひがし ひろあき
・東 弘明 議員
災害に強い町づくり
.....P13

一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。

持続可能な経済・福祉・インフラを



なかだ たかひろ
中田 隆洋 議員

※特定技能実習生の受け入れ

問 特定技能実習生制度の現状と課題は。

答 全国で特定技能外国人は25万人を超え、受け入れの上限は今後5年間で82万人に設定され労働力確保を目的とした制度。課題は、「特定技能1号」通算5年で長期的な人材確保。

問 受け入れ拡大の必要性は。

答 全国的にも受け入れが拡大していく。

問 受け入れの課題と改善策は。

答 町内で技能実習生、特定技能外国人を雇用。どちらも在留期間が長くて5年と短く、長期的な労働力の確保が困難。改善策は、管理団体からの派遣と共に「特定技能2号」を取得する支援を管理団体に要望し、中・長期的な労働力確保を実現する。

問 受け入れ後の支援体制は。

答 えらぶ島づくり事業協同組合が、「特定技能2号」の取得に向け日本語教育等の支援を予定。また、受け入れ企業10社程度を対象に生活指導員講習を開催する。

問 地域経済や社会への貢献は。

答 労働力不足解消と即戦力として生産性の向上や企業の負担減少にも寄与する。

また、国際交流の機会の創出や関係人口・交流人口の増加、人口減少対策に貢献していく。

※特定技能実習生制度とは

在留資格

外国人が日本に在留するためには、在留目的等を地方出入国在留管理官署に申請し認定される必要がある。在留資格に特定技能の2種類がある。

①特定技能1号

特定産業分野に属する相当程度の知識または経験を必要とする技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格

②特定技能2号

特定産業分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格

特定産業分野(16分野)

①介護②ビルクリーニング③工業製品製造業④建設⑤船舶・船用工業⑥自動車整備⑦航空⑧宿泊⑨自動車運送業⑩鉄道⑪農業⑫漁業⑬飲食品製造業⑭外食業⑮林業⑯木材産業

特定技能1号は16分野受け入れ可能、特定技能2号の受け入れは青文字11分野(工業製品製造業については一部業務区分が対象)において受け入れ可能

これからの防災対策

いちき むつく
市来 武次 議員

町政

問 町長の任期満了まで約7ヶ月となったが、これまでの実績と、進退を含めた今後の方針を問う。**答**

町民の皆様や職員と一丸となって取り組み、和泊町の代表という気持ちで、島内外に沖永良部島・和泊町のPRに努めてきた。

喫緊の課題として、財政健全化が最優先であると考え、新たな予算編成の手法や財政規律を確立し、財政健全化について加速させてきた。

また、脱炭素先行地域に選定され「2050年カーボン

ニュートラルに向けて」脱炭素に資する取り組みを展開している。

更には、子育て支援を強力に推進するため、こどもを産み育てやすい環境の整備を推進・子育て支援に係る施策の強化・こどもやその世帯を巡るさまざまな課題へ対応していく。

今後の進退は、現行の取り組みを強力に推進し、「挑戦の先にある新しいまちづくり、未来輝く和泊町」を実現するため、誠心誠意努力する。

第6次総合振興計画

問

「まちゅんどプロジェクト」の取り組みと現状

答

は。幼少期から郷土愛を育みながら地域の課題解決能

力を養い、島外に出ても島とのつながりを実感でき、Uターン移住の際は、仕事や住居に困らず安心して地元に戻って来ることができるという環境づくりを目標とし、関係機関と連携を強化しながら、本プロジェクトを積極的に推進していく。

問 「みじらしゃエリアプロジェクト」の取り組みと現状は。**答**

一人暮らし高齢者等への支援や空き家の有効活用を目的としている。

対象家屋の購入及び耐震化工事が多額を要し、費用対効果の観点から、プロジェクトの継続が困難となった経緯がある。

現状としては、一人暮らし高齢者や障害者等への居住支援を行う居住支援協議会の立ち上げに向けて、各関係機関等と協議を進めている。

防災対策

問 防災に対する対策は。**答**

今年度は警察署・消防署・航空自衛隊・消防団のほか島外から陸上自衛隊奄美警備隊・県防災ヘリコプターも参加し、災害時の救助訓練を行った。今後も関係機関と密に連絡を取り、有事の際に迅速な対応ができるよう努めていく。

また、平時から情報収集に努め、あらゆる災害に対応できるような取り組みを検討協議していく。



黒字財政、町民への投資へ



しま ひろき
島田 浩樹 議員

令和7年度当初予算編成

問 当初予算編成方針は。

答 物価や景気の動向を踏まえ、町内経済の循環・回復に向け取り組む。民間のコスト意識を持ち、町民の生活に直結する必要性の高い施策・事業を展開し、「第6次総合振興計画」を明るい未来に向けた指針とし、活力ある「和泊町」の実現に邁進する予算編成。

問 厳しい世界情勢の中、農林水産振興予算編成は。

答 ①糖業関係では、さとうきび生産対策本部に

て、生産対策事業費を活用した堆肥及び農薬ドローン散布事業への助成並びに国庫補助事業を活用した生産者支援に積極的に取り組む。②野菜関係では、輸送コスト支援事業を活用し、生産支援・出荷支援に努め、また、新規事業として、新規品目推進事業による生産者支援に取り組む。③花き・球根関係では、輸送コスト支援事業及び農業創出緊急支援事業等を活用し、生産者や出荷団体の生産支援や品質向上による経営安定を行う。④「えらぶゆりリバイバル事業」についても引き続き実施する。④畜産関係では、各外郭団体への支援を行い、畜産振興に努める。新規事業は、夏場の暑熱対策等事故防止を目的に牛舎内の環境改善への支援、子牛価格の低迷や

資材価格の高騰が続く中、資金繰りへの支援等で厳しい世界情勢の中でも畜産経営に取り組めるよう実施する。⑤水産関係では、離島漁業再生支援交付金事業や輸送コスト支援事業等を活用した漁業生産力及び付加価値の向上、共同出荷体制の構築に向けた支援また、新規事業となる「和泊町漁業経営支援事業」をとおり、本町水産業の成長産業化を図る。⑥担い手対策では、新規就農者育成総合対策事業等を活用し、経営開始時の経営確立を支援し、農業への人材確保及び定着を図る。今後も本町農業の発展に努めていく。

【その他の質問】

◎歳入確保に向けた徴収対策は。

えらぶゆりリバイバル事業

重点継続事業費500万円

1. 省力化のための実証
2. リン片ほ場への助成
3. 優良球根への更新助成



みどりの食料システム戦略推進総合対策事業

国庫事業費100万円



▲無線式門型防除機

国庫事業費120万円



▲ラジコン耕運機

町民が知って選択できる情報提供を



なかむら こ 議員
中村 むつ子

総合交流施設

問 今、総合交流施設が必要
な理由は。

答 第6次和泊町総合振興計
画「よつていあしばープ
ロジェクト」で取り組むべき
町づくりの課題や目標を達成
できない状態であり、様々な
活動に支障をきたしているた
め、総合交流施設は必要であ
る考える。

問 建設地は決まっているの
か。

答 城ヶ丘中学校校舎東側が
最も適していると判断さ
れ、令和6年3月に具申を受
けている。

町としても町有地を多く含
む場所が、建設費用等を抑え
られるため、建設地に適して
いると判断した。

問 建設予算は決まっている
のか。

答 当初の想定から建設規模
の縮小や事業費削減など、
建設予算を抑えた形で建
設に向け議論している。

問 建設費が20億・30億・40
億の場合の年間返済額と
維持費は。

答 施設の機能等により借り
入れが変わるため、年間
の返済額をお示しすることは
難しい。

維持費については、目安と
しては建設費の1%から3%
と考えている。

脱炭素におけるソーラーパネ
ルの設置

問 設置予定場所はどこにな
るのか。

答 和泊城浄化センター・和
泊第1中継ポンプ場・有
線テレビスタジオ・やすらぎ
館の4施設。和泊町役場をは
じめ9施設の設置を令和9年
度までの事業で計画してい
る。

問 ソーラーパネルの製造会
社は。

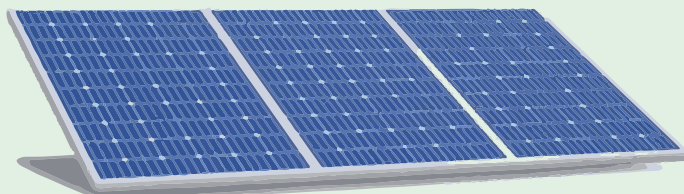
答 ソーラーパネルはサン
テックパワージャパン社
製の単結晶シリコン系モ
ジュール出力580Wを使
用。

問 ソーラーパネルの健康被
害の認識は。

答 ソーラーパネルが明確な
原因で健康被害が発生し
た事例は現段階では報告さ
れていない認識。

問 ソーラーパネルの危険性
の認識は。

答 本事業における太陽光発
電設備も電気工事に当た
るので、既存の電気設備同様
事業者には法規制に則った適
切な施工に努めて頂くよう注
視していく。



災害に負けるな島人よ



いけだ しょういち
池田 正一 議員

自然災害

問 11月に発生した豪雨被害状況と被害箇所への対応

は。また、これからの豪雨への対策をどうしていくのか。

答

経済課関係として、農作物はばれいしょ・百合球根で被害額約292万円と試算している。

今後の対策として、収入保険制度等の周知にも努めている。

耕地課関係として農地や水路等施設においては、11月10日以降も基準値を上回る雨量があり、その分も合算し29件確認。国庫補助による災害復旧

事業、水土里サークル活動を活用した復旧、事業での対応が困難な被災箇所については、町単独による復旧工事を検討。

現在は水土里サークル活動において、農地の軽微な復旧や水路に堆積した土砂等の除去作業を実施しており、今後も地域資源の管理・農業用施設の機能増進を図る活動を実施。

生活環境課の水道事業においては、第1汚水中継ポンプ場へ不明水の流入が増加し始め、夕方には処理室内の汚水床上浸水が発生し処理能力を超えたため、バキュームカーを依頼し和泊浄化センターへ運搬する対応を行っている。

不明水については、その発生原因と発生箇所の特定が困難であり、解決するべき課

題。

全体を通して、今回の豪雨で浸水や赤土の流出・農作物への被害が発生しており、これらの被害を防ぐために官民協力して取り組む必要がある。



▲牛舎(災害時)



▲牛舎(平常時)

【その他の質問】

◎町民スポーツ大会について



▲ばれいしょ畑(災害後)



▲根折字住居前(災害時)



▲根折字住居前(平常時)

高齢者にやさしい町政

まつむら きゆへ
松村 絹江 議員

県営土地改良事業に係る清算事務

問 現状と今後の課題は。

答 清算事務を進めるうえで、換地処分登記から20

年以上経過している地区もあり、権利者の高齢化・相続や売買による権利の移動が発生している点、また長期に時間が経過していることから、権利者に理解が得られるかが課題だと考えている。

各清算委員会において早期清算完了に向けて取り組む。

マイナンバーカード

問 健康保険証との紐付けに
対しての不安材料はないか。

か。

答 マイナンバーカードと健康保険証との紐付けに

対しての不安材料は、1つ目に登録方法、2つ目に安全性があると考えられる。

「自身で登録が困難な場合は、医療機関に行った際にカードリーダーにかざすだけで簡単に登録ができる。」

次に安全性については、紛失した際の不安があると思う。

紛失時には24時間365日コールセンターにおいて、カード運用の一時停止の措置対応等のセキュリティ対策により悪用困難な仕組みとなっている。

問 今後の紐付けの範囲は。

答 預金口座、公金受取口座、キャッシュレス決済サー

ビス、国民年金との紐付けがある。

また、令和7年3月24日からは、運転免許証の紐づけも運用開始とされている。



町職員採用

問 重点的に注力する採用基準は。

答 職員採用試験は筆記・作

文及び面接試験を実施している。

今年度から、人材確保の幅

を広げ人事の活性化を図ることを目的に、新たに「社会人枠」を設け、豊富な知識や経験を有し、即戦力となる新規採用職員の募集を行っている。

問 新卒採用と社会人経験採用の割合は。

答 令和2年度から令和6年

度採用の新規採用職員では、新卒採用が24%、社会人経験採用が76%となっている。

問 地域のイベント等に参加させて協調性等を見極める方法を取り入れられないか。

答 地域(字)の青壮年団活動

やスポーツ・文化活動への積極的な参加と、地域の皆さんに愛され、信頼される役場職員を目指すよう指導や助言を行っている。今後、採用試験の内容の見直しについては、必要に応じて、採用試験委員会の場で協議することが可能だと考えている。

未来の和泊町を描くために



かわま かつし
川間 哲志 議員

職員の人材育成

問 職員の人材育成についての取り組みは。

答 令和6年度から新規採用職員に対し「職員のしおり」を作成し、研修を実施。

また新規採用後6ヶ月間は、直接指導者制度を導入し、日々の公務のサポート体制を整備。

今後とも職員の人材育成が町民サービス・町政運営において重要な課題として考え、会計年度任用職員を含む全職員に対し、継続的に人材育成に取り組む。

政治姿勢

問 脱炭素事業計画変更の町民への説明は。

答 小学校区4箇所でゼロカーボンシティ町民説明会を行い、その中で脱炭素先行地域事業計画の変更内容についても説明を行った。

また今後も、計画の進捗や変更点について町民の皆様へ丁寧にお伝えする必要があると認識している。

財政

問 人口が与える普通交付税への影響は。

答 普通交付税の交付額は基準財政需要額と基準財政収入額のバランスを考慮して決定されているが、人口の増減は普通交付税に影響を与える要素のひとつであると考えている。

第8表 普通会計決算状況総括表〈令和5年度決算〉

区 分		和 泊 町			類似団体	対前年度比
		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	(C)/(D)
指 数	財 政 力 指 数	0.18	0.18	0.18	0.27	
	標準財政規模 (A)	4,086,377	4,072,094	4,258,316	4,360,697	
	基準財政収入額	719,524	691,567	660,016	966,458	
	基準財政需要額	3,900,545	3,873,543	3,983,162	3,963,304	
	経常一般財源等収入額 (B)	4,040,483	4,056,648	4,153,187	4,296,522	
	実 質 収 支 比 率 (I)/(A)	3.5	3.1	1.3	6.3	
	経常一般財源等比率 (B)/(A)	98.9	99.6	97.5	98.5	
	経常収支比率	89.8	87.1	85.2	83.5	
	実質公債費比率(3ヶ年平均)	16.6	16.4	16.4	8.9	
	将来負担比率	7.3	35.5	61.5	0.0	
	地方現年課税分	99.2	98.9	98.9		
	税徴滞納繰越分	18.0	21.5	16.4		
	税率合計	95.5	94.8	93.0		
	地方債現在高	7,685,866	8,555,405	9,041,436	7,777,866	
	積立金現在高	3,671,154	3,649,828	3,016,998	4,719,860	
	財政調整基金	985,249	974,249	1,364,158	1,570,144	
	減債基金	205,200	175,200	165,200	533,387	
等	奨学基金	105,000	105,000	105,000		
	公共施設等総合管理基金	1,075,650	1,104,000	585,000		
	農業振興基金	103,580	103,400	103,200		
	教育施設整備基金	7,700	6,700	5,700		
	地域福祉基金	11,800	11,700	11,600		
	ふるさと・水と土保全基金	11,700	11,700	11,700		
	放送施設更新準備基金	150,000	150,000	50,000		
	土地改良事業基金	360,000	360,000	310,000		
	風力発電施設管理基金	80,000	80,000	61,539		
	ゆりのふるさと基金	142,640	144,893	140,000		
	海洋療法施設維持整備基金	144,568	150,000	100,000		
	森林環境譲与税基金	2,794	3,000	2,900		
	企業版ふるさと納税基金	106,686	155,202	1,001		
	総合交流施設建設基金	148,587	114,784	-		
	アグトロラスト基金	30,000	-	-		
職 員 数 (普 通 会 計)		127	124	127		102.4

区 分		和 泊 町			類似団体	対前年度比
		令和5年度(O)	令和4年度(P)	令和3年度	令和4年度	(O)/(P)
収 入	歳入総額 (E)	6,700,778	7,190,783	7,580,616	8,727,918	93.2
	歳入総額 (F)	6,520,007	7,047,006	7,456,358	8,358,524	92.5
	歳入歳出差引 (G)					
	(E)-(F)	180,771	143,777	124,258	369,394	125.7
	翌年度繰越財源 (H)	36,545	15,836	70,273	93,121	230.8
	実 質 収 支 (I)					
	(G)-(H)	144,226	127,941	53,985	276,273	112.7
	単年度収支 (J)	16,285	73,956	△ 4,867	29,841	22.0
	積立金 (K)	11,000	110,091	164,158		10.0
	繰上償還金 (L)	96,236	0	0		0.0
支 出	積立金取崩額 (M)	0	0	10,000		0.0
	実質単年度収支 (N)					
	(J)+(K)+(L)-(M)	123,521	184,047	149,291		67.1
内 訳	経常収支比率	89.8	87.1	85.2	83.5	103.1
	人件費	27.6	27.5	26.7	23.3	100.4
	扶助費	4.4	4.9	4.7	3.9	89.8
	公債費	24.0	24.3	26.2	18.1	98.8
	物件費	10.0	8.1	7.4	12.7	123.5
	維持補修費	1.0	0.4	0.6	2.0	250.0
	補助費等	9.4	8.9	8.2	13.9	105.6
	繰出金	6.7	13.0	11.3	9.3	51.5
	投資及び出資金貸付金	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	職員数 (普通会計)	127	124	127		102.4

※令和5年度 主要施策の成果及び事業実績説明書より

産み育てやすいまちづくりを



やまぐち あすか
山口 明日香 議員

子育て支援

問 幼保連携型認定こども園設置の進捗状況は。

答 わどまり保育園を運営する和泊町社会福祉協議会では、令和7年4月1日からの幼保連携型認定こども園の開設に向け、令和6年6月24日付けで鹿児島県知事宛に「幼保連携型認定こども園設置認可申請書」を提出しており、認定許可についての結果通知を待っている状況。

認可審査の状況について、県の担当者に問い合わせたところ、今後、特に現状の運営等に問題が発生しない限り、正

式に認可が受けられる旨の回答を得たことから、社会福祉協議会と連携し、来年度の入園申し込み及び新たな幼保連携型認定こども園としての運営に向けた準備を進めていく。



産婦人科の体制

問 島内の医療機関における産婦人科の現状と課題は。また、課題への対策は。

答 島内の産婦人科の現状については、医療機関が1か所、常勤医が1名と応援の医師が2、3名、助産師が5名の体制で診療などを行っている。

先日、関係機関と医療機関で、現状の確認や今後の動向について協議を行った結果、医療機関から新たに産婦人科医を1名確保し、来年4月から産婦人科医2名体制で診療を行う旨の報告を受けている。

産科医療の体制が整えられることにより、産後ケアの受入れ体制についても強化・改善が図られることが期待される。

島内で安心して産み育てやすい環境が整えられることに

より、里帰り出産の受入れや、若い世代の定住にもつながるものと考えている。

今後も、産科医療の充実を図るとともに、妊産婦の健康管理などの母子保健事業の充実に努めていく。



町民の財産である文化財の保護を考える

かつら ひろかず
桂 弘一 議員

教育委員会の人事

問 文化財担当は、現体制で弊害はないか。

答 令和6年12月現在、本町教育委員会における文化財係については、博物館学芸員資格及び文化財の調査経験を有する正規職員が1名、本町において文化財の調査等を通算で10年以上経験した会計年度任用職員2名、2年目の会計年度任用職員1名となっている。

なお、大島郡内市町村において、文化財を専門とする正規職員数が1名以下のところは、知名町・与論町・大和村・宇

検村・龍郷町となっている。

文化財を専門とする正規職員が複数いると、複数の史跡の調査や保存管理・整備・活用計画の策定についても、同時に対応できる。しかし、採用の募集をしても申込者が少ないことが、近隣市町村でも課題となっている。

教育委員会事務局では優先順位を検討し、当該人員で業務を行っているところだが、大学へ働きかけするなど、人材情報の確保に努めながら、文化財行政の推進に取り組む。

【その他の質問】

◎災害対策

(P9池田議員への答弁参照)

災害に強い町づくり

ひがし ひろあき
東 弘明 議員

畑かん施設の電気代対策

問 太陽光発電を導入し、畑かん施設の電気代を賄うことはできないか。

答 太陽光パネルのみでポンプを稼働させるためには、発電される電力量と安定性の課題がある。

現在の畑かん施設の電気使用量や使用パターン等を調査し、必要な太陽光パネル設置容量の算定と概算事業費の算出、補助事業の活用見込み等について検討する必要がある。

異常気象対策の取り組み

問 11月の大雨被害の状況と、今後の対策をどのようにしていくか。

答 総務課関係の被害状況として、住家で床上浸水が9件、非住家で床上浸水が1件あった。浸水しそうな住家は消防団が出動し、ポンプ車による排水で対応している。

土木課関係の町道において、舗装剥れが3件あり、2件は工事発注、1件は土木課道路維持班で対応済み。



議会を傍聴してみませんか

町の予算や身近な問題について話し合う大切な場で

**だれでも自由に
見たり、聴いたりできます！**



令和7年第1回議会定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
3/2	3	4 本会議初日 一般質問 (9:30~)	5 本会議 一般質問 (9:30~)	6 本会議 議案審議	7 本会議 当初予算関係	8
9	10 予算審査 特別委員会	11 予算審査 特別委員会	12 (予備日)	13 (予備日)	14 本会議最終日 議案審議	15

本会議場での傍聴

- 本会議の受付所…役場2階 議場入口
- ①傍聴者名簿に名前を記入
- ②一般質問通告書をもらい入場

テレビでの視聴

- 一般質問の様子をサンサンテレビで生放送(再放送あり)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
令和7年がスタートしました。我々議員もより一層議会活動を活活化し、町の発展に寄与して参ります。
本年もよろしくお願い致します。



議 長 発行責任者 野 利 則
委員 編集責任者 島 田 哲 浩
副委員長 川 間 田 武 次
委員 中 村 武 次
委員 市 来 武 次

今号の表紙



20歳を迎えられた皆様、おめでとうございます。大城小卒業生6名が、母校の記念碑前で決めポーズをとってくれました。皆様のご多幸とご活躍をご祈念申し上げます。